

# ひろしまの 土地改良

2011年  
第226号



第7回ひろしまの農村フォトコンテスト 「オアシス」 此本 健一郎 (撮影場所：竹原市吉名町)

## Contents

西中国山地に抱かれた暮らし・交流・元気のまち 安芸太田町

第52回全国土地改良功労者表彰

広島県だより

土連だより

生きもの調査指導者養成全国研修会開催

農地・水・環境 NEWS / 耕作放棄地再生NEWS

田んぼの学校だより



# 西中国山地に抱かれた暮らし・交流・元気のまち

～豊かな自然、歴史文化を大切にし、多様な交流を育む～



安芸太田町長 こさか 小坂 しんじ 眞治

## 1 はじめに

安芸太田町は、広島県の北西部に位置し、東と北は北広島町、南は広島市、西は廿日市市と島根県益田市に接し、恐羅漢山や三段峡をはじめ、美しい山容を誇る西中国山地国定公園など豊かな自然環境に恵まれた地域です。

交通条件は、中国自動車道戸河内ICが地域の玄関口となり、一般国道186号・191号など、山陽山陰の交通の結節点に位置しています。

総面積は342.25km<sup>2</sup>、このうち森林面積が88%を占め、耕地及び集落は太田川の本支流沿いに点在しています。

冬季は脊梁山地に特有の厳しい気候となります。夏季はしのぎやすい冷涼な気候ですが、時には盆地特有の気象条件により県内最高気温となることもあります。

年間降水量は、1,900mmから2,300mm程度で、冬季の降雪量も影響していると思われます。

一方、標高約90mの南東部の太田川沿いと、北西部の県内最高峰である恐羅漢山（1,346m）など千m級の山々が連なる山岳地域との高度差などの地形の影響により、本町の気象は局地的に大きな差異を生じていることも大きな特徴です。

安芸太田町は、平成16年10月1日に、旧加計町、旧筒賀村、旧戸河内町の3町村が合併して誕生した町です。平成22年の国勢調査では広島県で最も人口が少ない町及び最も人口減少率が高い町となっています。

### 町花：やまゆり（学術名：ササユリ）

町内各地に自生する花「やまゆり（学術名：ササユリ）」は、上殿小学校による原爆病院への「やまゆり訪問」のように「やまゆり」の名で親しまれています。



### 町木：もみじ

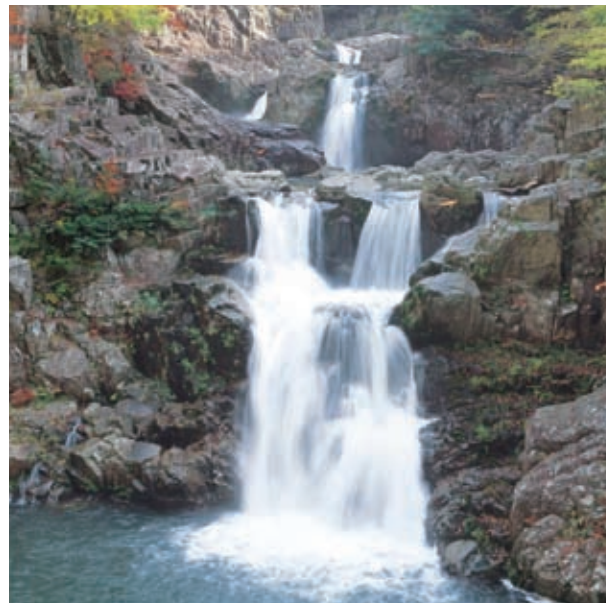
秋の紅葉を代表する木「もみじ」は、町内の三段峡をはじめ深山峡、龍頭峡などがその名所として広く知られています。



## 2 観光スポット

### 三段峡

三段峡は国の特別名勝に指定されている国内有数の大峡谷で五大壮観（黒淵、猿飛、二段滝、三段滝、三ツ滝）の他にも大小様々な滝、淵などがありなす渓谷美はすばらしく、全長13kmと歩くには一見長く感じますが、見る価値は十分です。特に春の新緑、夏の涼感、秋の紅葉は格別です。



### 恐羅漢山

標高1,346mの広島県最高峰で、北西部はブナやミズナラ、トチなど落葉広葉樹の群生林が広がり、南東部はスキー場グレンデが整備され、春は山菜、夏は登山、秋は紅葉狩り、冬はスキーと一年中訪れる人が絶えません。



### 深入山

標高1,153mのなだらかな女性的な山です。毎年4月上旬に山焼きがおこなわれるため草原状の山で、約1時間で頂上まで登ることができます。頂上は360°見渡せる大パノラマで西中国山地の山々や遠く日本海まで見渡すことができます。



### 温井ダム

黒部ダムに次ぐ、日本第2位の高さのアーチ式ダムで、エレベータで降りて最下部からダム本体を見上げると平衡感覚が狂うようなコンクリートのボリュームに圧倒されます。(写真は梅雨時期前の水位調整放流です)



### 井仁棚田

農林水産省の「棚田百選」に広島県から唯一選ばれた棚田です。棚田の枚数は324枚で秋には稲と畔の石積みが鮮やかなコントラストを見せます。



## 3 特産品

### 祇園坊柿

安芸太田町の太田川流域では昭和57年から「祇園坊柿の里づくり」を進めて特産品として振興してきました。

祇園坊柿は渋柿の一種ですが、他の柿よりも一段と大きく、果肉が豊富で水分が多く種が殆どないのが特徴です。

渋抜きをした生柿『あおし柿（あわせ柿）』は祇園坊柿の形を残したままで甘みを充分満喫でき、メロンにも勝るとも劣らない味をしており、柿の王様といわれています。

又、干し柿にすると最高の品質となり、生の感じを残すトロリとした感触と自然の甘みが口の中を充分楽しませてくれます。産地は太田川上流地域が適地といわれ、この地域以外は、現在でも全国的にあまり生産されていません。



## 4 農業農村

安芸太田町の農業は過疎化・高齢化による担い手不足、米の生産調整面積の増加とともにクマ・猪・サルの有害鳥獣による被害に加えて近年はシカ・アライグマ・ヌートリアによる被害も増加して農業者の営農意欲を減退させ、農地の荒廃・遊休地が増加しています。しかしながら、農業者戸別所得補償制度、中山間地域等直接支払制度等を活用して、農地の有効利用による自給率の向上、農業の持続的発展を図ることも求められています。

農業農村の振興のためには、空き家バンク制度活用者、U・Iターン者の定住対策も含めた受け入れ体制を整備し、建設業などの企業の農業参入による、地域生産者の雇用機会の創出などの施策により、新たな担い手の確保と育成を図っています。



参入企業による作付状況

また、食に対する安全性や信頼性が求められるなか、地産地消への関心が高まっており、市場競争力の低い少量多品目の生産が大部分を占める本町の農業生産を活かし、有利な販売ができる販路として、戸河内ICを出てすぐの所に太田川産直市を開設するな

ど、町内20箇所ある産直市の連携強化を図り、共同活動を展開して、地域資源の活用と農家の所得向上に努めています。



平成22年4月にオープンした太田川産直市

山と水が豊富でワラビ等多種類の山菜が自生している本地域では、比較的栽培が簡単かつ軽量の品目としてワラビを、遊休農地を活用した試作などさまざまな取り組みを行い、特産品化に向けた活動の展開と、農業生産法人の収益性のある作物として振興しています。

今後は、本町地域内にある豊富な自然・観光資源を活用した農村・ヘルスツーリズムを展開する観光事業との連携を図ることで、新たな産業の創出（特産品開発など）を期待し「自然とともに暮らす快適な暮らしづくり」に向けた取り組みを行っていきます。



祇園坊柿オーナー制度交流会 加工品づくり

## 5 おわりに

今後も必要な基盤整備・生産体制の確立、担い手の確保、生産組織の育成・強化を図り安全安心な農産物を供給する地産地消を推進していき、活力ある農業振興を進めていきます。

## 第52回全国土地改良功労者表彰

### 全国水土里ネット表彰式開催

平成23年5月23日（月）、東京都千代田区平河町の「シェーンバッハ砂防」において、第52回全国土地改良功労者表彰及び農業農村整備優良地区コンクール表彰が行われました。全国土地改良事業団体連合会表彰規程に基づき、土地改良事業の推進に多大な貢献をした土地改良関係者が表彰されました。

本県からは、4団体・1名が受賞されました。

### 第52回全国土地改良功労者表彰

#### 団体表彰

金章 向原町土地改良区

銅章 三原市小泉土地改良区 吉田町埃ノ宮土地改良区 東広島市重兼土地改良区

#### 個人表彰

西尾久男様（賀茂郡豊栄町吉原土地改良区）

受賞された団体と個人の皆様には、心よりお祝いを申し上げます。



写真左より

- ① 吉田町埃ノ宮土地改良区  
小石和弘理事兼事務局長
- ② 東広島市重兼土地改良区  
山根弘道理事長
- ③ 三原市小泉土地改良区  
高下正則理事長
- ④ 向原町土地改良区  
藤川久則理事長  
※賀茂郡豊栄町吉原土地改良区  
西尾様は欠席

### お悔やみ

「ひろしまの農村フォトコンテスト」において長年審査委員長を務めていただきました福田全伸氏が去る6月12日、慢性呼吸不全により逝去されました。77歳でした。

福田氏は【全日本写真連盟 関西本部顧問】等を努め、広島県下の農業・農村に携わる人々の生活や四季にうつろう風景など、さまざまな写真を選評いただき、広く県民のみなさまへ農業・農村のPRを担っていただきました。

福田氏のご冥福を心よりお祈りいたします。



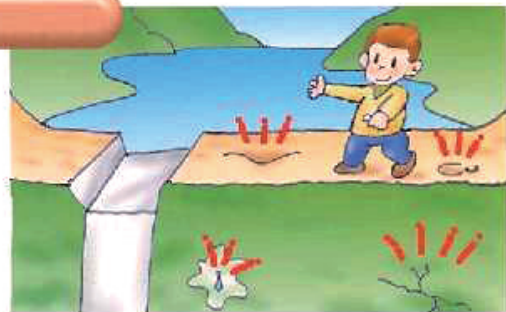
## 広島県だより

ため池が決壊すると大きな被害を及ぼします。農業用ため池を良好に維持していくためには、日常から適正に管理することが大切です。

### これだけはやろう『ため池管理』

#### 堤体の変形や漏水はありませんか

堤体に陥没やひびなどはありませんか。堤体から水がしみ出しているところや、歩くと湿って柔らかくなったところはありませんか。小さな水みちが決壊のもととなります。よく注意して見ておきましょう。



#### 堤体の立ち木や雑草は刈払っておきましょう

堤体上に草木が繁っていると、漏水やひび割れなどの症状が発見しにくく、また草木の根によってできるすきまが漏水の原因となることがあります。



#### 洪水吐をふさいでいるものはありませんか

洪水吐に土のうを積んだり、網などを張っていると大雨を排除できず、また流木などが引っかかりふさいでしまうこともあります。ため池は土でできているため、水が越えると決壊します。洪水吐をふさいでいるものは取り除いておきましょう。また洪水吐の周囲の崩れそうな部分は取り除いておきましょう。



#### こういうときは念入りに見廻りを!!

梅雨時期、台風時期前には危険な箇所がないかチェックしておきましょう。大雨の後や地震があった後は異常がないかチェックしましょう。



お問い合わせ／農業基盤課  
☎ 082-513-3650

## ●畑地帯総合整備事業 — 畑地かんがいの一部供用開始について（重井地区） —

平成23年3月30日から因島重井町（重井東部・炭釜地区）で一部給水を開始しました。

### 1) 県営畑地帯総合整備事業 重井地区の概要

重井地区は、尾道市因島の北部に位置し、温暖な気候を利用してキヌサヤエンドウ、スイカ、ワケギ、ミカンなど多種多様な作物の栽培が盛んな地域です。

しかし、島しょ部のため年間降水量が少なく、大きな河川がないことから用水確保に多大な労力を要してきました。また、畑地の一部は急傾斜地のため、通作等にも支障をきたしていました。

このため、県営畑地帯総合整備事業により、かんがい用水の確保と農道の整備等を行い、重井地区の農業の振興を図ります。

### 2) 重井地区全体事業内容

#### ◆ 畑地かんがい（受益面積151ha）

ダム：重力式コンクリートダム1カ所（堤高32.7m、堤長106m、有効貯水量277千 $m^3$ ）

パイプライン：幹線L=6km、支線L=18km、ファームポンド（中継水槽）：5カ所

#### ◆ 農道（受益面積61ha）

アスファルト舗装 3.5～4.0m（有効幅員3.0m）L=4.8km

### 3) 供用の状況

奥山ダムの完成以降、平成22年4月から因島中庄町の27haへ農業用水を給水しています。

さらに給水栓等末端施設の部分完了に伴い、平成23年3月30日から、県営ほ場整備事業重井東部地区を含む29haへの給水を始めました。

今後は、支線パイプライン等の工事を計画的に進め、平成26年度には、全域で供用開始する予定です。

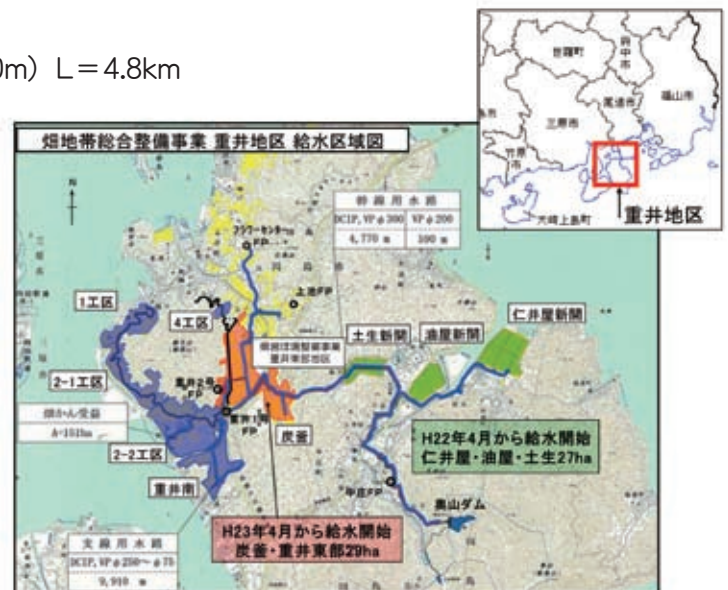
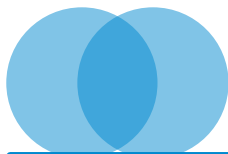


図-1 重井地区給水区域図



写真-1 重井東部・炭釜地区状況（H23.4.5撮影）

重井東部地区給水式（H23.3.30）



## 士連だより

### ●「公共測量品質管理優秀賞」を広島県土地改良事業団体連合会が受賞

社団法人日本測量協会（日測協）が表彰する第7回「公共測量品質管理優秀賞」及び「奨励賞」の表彰式が6月30日（木）、広島市中区のホテル法華クラブで催されました。平成22年度に実施した測量検定の成果において、品質が特に優れていたと認められる作業機関を表彰するもので、本年度は全国で15社が「優秀賞」、5社が「奨励賞」に選ばれました。中国地方では広島県土地改良事業団体連合会が昨年の「奨励賞」に続き「優秀賞（基準点）」を受賞し、表彰式には東部事業所の坂本利和次長、上杉忠主任主査が出席しました。日測協測量技術センター中国支所の西田文雄支所長より記念の楯を受け取り「昨年度の奨励賞に引き続

いての受賞。本当の実力といてもいいと思う。」とお祝いの言葉をいただきました。顧客から喜びの声をもらうことが最終目標。今後もより精度の高い成果品を納められるよう、さらなる努力をしていきます。



楯 「優秀賞」



表彰の楯を受ける坂本次長



「優秀賞」を受けて記念写真 東部事業所（測量支援班）

### ●水土総合強化推進事業委員会（換地等強化事業推進委員会・管理円滑化事業推進委員会）

7月6日（水）、広島市中区の土地改良会館において、水土総合強化推進事業（換地等強化事業推進委員会・管理円滑化事業推進委員会）が開催されました。平成23年4月1日に水土総合強化推進事業の要綱が制定されたことに伴い、従前の

水土保全強化対策事業が廃止され、土地改良区の組織運営基盤の再編整備、体制強化対策の実施が新たに加われました。

換地においては2議案、管理においては5議案が審議され、いずれも原案通り可決されました。



換地等強化事業推進委員会



管理円滑化事業推進委員会

## ●団体営調査設計事業が変わりました！

平成23年度より、団体営調査設計事業が地域自主戦略交付金へと移行しました。

- 1) 実施計画の内容  
各事業に必要な事項についての調査及び検討を行い実施計画を策定する。
- 2) 調査対象事業  
・農地整備事業における実施計画に係る運用より

ほ場整備、農道整備、農業用排水施設整備

- ・農地防災事業に係る運用より  
ため池等整備

### 3) 負担割合

国	50%	県	15%
市町等	20%	土連	15%

【問い合わせ】 事業部 技術支援課 (計画支援班) 082-502-7473 まで

## ●「土地改良施設維持管理適正化事業」 平成24年度新規加入地区を募集！

土地改良施設維持管理適正化事業では、老朽化の進む土地改良施設（用排水機、頭首工、樋門等）の整備補修を計画的に進めていくために、平成24年度の新規加入地区を募集しています。

この事業の仕組みは、一般の補助事業とは異なり、頼母子講のように5年間均一に経費の一部（事業費の30%）を積み立て、定められた年度に整備補修を実施することになります。

本事業を実施するためには、その施設について広島県土地改良連合会の診断・管理指導を受ける必要があります。

その他、詳細については下記までご連絡ください。



【問い合わせ】 総務部 地域支援課 082-502-7476 まで

## こちら 21 創造運動事務局

### 「八木用水のルーツを訪ねて」ウォーキングの開催について

水土里ネット祇園町外二ヶ町が主催する、八木用水のウォーキングが下記の日程で開催される予定です。  
日時：平成23年11月19日（土） 8時50分までに JR可部線 上八木駅集合

#### お問い合わせ・参加申し込み先

TEL：082-874-3311 安佐南区祇園出張所内水土里ネット 祇園町外二ヶ町 高橋まで

## 生きもの調査指導者養成全国研修会開催

生きもの調査指導者養成全国研修会が6月16日・17日社団法人地域環境資源センター農村環境部（旧農村環境整備センター）の主催により、三原市と世羅町で開催されました。また、広島県土地改良事業団体連合会も地元調整等全面的に協力を行いました。参加者は、東は千葉県や東京都、西は佐賀県や福岡県、中国四国地方からは5県（広島県、岡山県、鳥取県、島根県、香川県）の参加となりました。

16日は、三原市芸術文化センター（ポポロ）において、調査の目的や計画・準備手法や採取、撮影、記録、同定（名前を明確にする）の仕方など講義が行われました。

また、財団法人自然環境研究センターの齊藤先生から、生物の名前の必要性や同定の仕方などについて講義が行われました。

17日は、世羅町川尻で生きもの調査が行われ、水土里ワーク川尻の橋鷹保さん<sup>きったかたもつ</sup>から環境における活動内容について説明が行われ、参加者全員がタモ網で生きものを採取し、同定、撮影などを行いました。その後、世羅町伊尾の小谷へと移動し、小谷たえクラブの井藤文男さんからダルマガエルに関するお話を聞きました。午後は、せら文化センターで、午前中採取した生きもののマップ作成や、現地調査における計画立案の手法について計画し、各班ごとに発表しました。水土里ワーク川尻の橋鷹さんからは、「取り入れて見たい計画があり、とても勉強になっている。」と全体の講評をいただき終了しました。



## 中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会の開催について

平成23年6月15日（水）松江市において、中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会及び21世紀土地改良区創造運動中国四国地方大賞の表彰式が開催されました。

総会では水土里ネット島根の宇津会長の挨拶に続いて、21世紀土地改良区創造運動中国四国地方大賞の表彰式があり、本年度は島根県の水土里ネット安来と、香川県の水土里ネット下笠居が受賞されました。

議事については、農業農村整備推進の提案（戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業の継続、地域農業水利施設ストックマネジメント事業の拡充、小水力発電導入の導入支援と規制等の緩和）等7案や事業計画について協議され、原案どおり可決されました。

## 農地・水・環境 NEWS

広島県農地・水・農村環境保全協議会

### ◆ 農地・水・環境保全向上対策事業の県・市町担当者会議が開催

7月5日（火）、広島市中区の土地改良会館において、農地・水・環境保全向上対策事業の県・市町担当者会議が開催されました。

今年度から始まる向上活動事業について、広島県から今後のスケジュールや手続き等の説明がありました。

また、県協議会からは、活動組織が行なう活動中のケガや事故に備えて、保険への加入推進や活動事例集作成のための協力依頼がありました。



## 耕作放棄地再生 NEWS

広島県耕作放棄地再生利用推進協議会

### ◆ 「耕作放棄地再生利用緊急対策」説明会を開催

7月8日（金）、広島市中区の土地改良会館において、「耕作放棄地再生利用緊急対策」の説明会が広島県、市町の担当者45名が出席し開催されました。

開催にあたり、耕作放棄地再生協議会下垣会長より「本対策は今年で3年目を迎え、昨年度は県内6市町、20地区で取り組まれ約5haの耕作放棄地再生が図られている。平成27年度までに350haの耕作放棄地復旧の目標に向けて一層のご支援、ご協力をお願いしたい。」と、述べられました。

説明会は別記のテーマで進められました。



下垣協議会長のあいさつ

説明内容	講師名
耕作放棄地の現状について	中国四国農政局整備部 農村振興課 藤原伸光課長補佐
耕作放棄地全体調査、農地利用状況調査及び農林業センサスの概要	中国四国農政局整備部 農村振興課 秋本直樹係長
広島県における耕作放棄地の状況について	中国四国農政局整備部 農地整備課 藤本豊記専門官
平成23年度耕作放棄地再生利用緊急対策について	広島県農林水産局農業基盤課 山本紀子事業推進員
広島県耕作放棄地再生利用実施計画採択要領について	広島県耕作放棄地再生利用推進協議会事務局

### ◆ 「ふるさとの田んぼと水」 子ども絵画展2011 “作品募集”

**応募資格** 小学生以下。クラスや学校単位での共同作品も可。

**テーマ** 「新発見！ほくのわたしのふるさと」

**応募〆切** 2011年9月7日（水）必着

#### 応募先・問い合わせ先

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町18-7 小網ビル

サン制作内「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展係

TEL：03-3669-8371 FAX：03-3669-8378

URL：http://www.inakajin.or.jp





## 田んぼの学校だより

三原市立神田東小学校では、毎年田んぼを中心とした活動が行われています。5月に入ると、6日は「泥んこ運動会」9日には「牛による代掻き体験」、16日には「田植え」を行っています。6日に行われた「泥んこ運動会」では、子供たちはゴーグルで目を保護しながら、各学年単位で3人から4人一組となり、30mを全力疾走！

後半はシッポ捕りです。単独に取りに行ったり、集団で計画的に取りに行くなど、それぞれが作戦を練ってシッポを捕りに行っていました。5年生の宮前くんは「今日待ちに待った泥んこ運動会です。早く田んぼに入りたくてサンダルに履き替えました。田んぼはグチュ・グニュして柔らかくてとても気持ち良いなあと思いました。でもこけてしまったのは残念です。こけた時、服がベチョベチョになり寒かったです。」と土の感触を体全体で感じていたようです。

9日には、牛による「代掻き体験」を行いました。毎年尾道から和牛農家の平田様をお願いしています。昨年の牛は、代掻き初体験でしたが、今年は子どもも生まれ母牛と



競争心むきだし？の30m走



シッポ捕り頑張れ！



牛に引っ張られそうな代掻き体験



横一列に！田植えのようす

なり、貴禄ある代掻きが見られました。4年生の釜石さんは「母牛は、子牛が見えないと、心配したのかモー・モー鳴きました。子牛の毛はサラサラしていて、母牛は毛がフワフワしていました。牛はとても力が強くて歩くのが速いので、なかなかついて行くことができませんでした。」と話してくれました。近年では、代掻きなどができる牛が少なく、ある意味希少種となっていると感じています。

16日には、いよいよ「田植え」です。紐に印があり、両側を先生方が動かしながら、丁寧に植えて行きました。6年生の國貞さんは「6年生が田植えの見本と説明をしました。苗を二本採り人差し指と中指と親指の三本の指で持ち、一人三株ぐらい植えました。人の足跡で深くなってしまうので大変でしたが終わった時には、すごく達成感がありました。昔の人は少人数で、手で苗を植えていたのでとてもすごいなあと思います。一列きれいに並べて植えていたのでとても感動しました。苗が早く大きな株になって稲の実をたくさんつけてほしいです。」と、早くも稲刈りが待ち遠しい様子でした。



住みやすく豊かな村づくり  
みどり  
水土里ネットひろしま

季刊 ひろしまの土地改良 第226号

- 平成23年7月15日
- 編集：ひろしま農業農村整備広報委員会
- 発行：広島県土地改良事業団体連合会  
〒730-0017 広島市中区鉄砲町4-1 広島県土地改良会館
- TEL (082) 502-7470 ■ FAX (082) 502-7480
- <http://www.hdn.or.jp>
- 印刷：佐々木印刷株式会社